

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	建築学基礎演習 I	
科目基礎情報							
科目番号	0048			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	特に教科書はなく、補助教材・適宜プリント等の資料を使用する。						
担当教員	石川 あゆみ						
到達目標							
1 計画・設計分野の理解が深まる 2 構造分野の理解が深まる 3 環境分野の理解が深まる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
1 計画・設計分野の理解が深まる	計画・設計分野の課題・演習等に対して8割以上正確に理解している。			計画・設計分野の課題・演習等に対して6割以上正確に理解している。		計画・設計分野の課題・演習等が理解できない。	
2 構造分野の理解が深まる	構造分野の課題・演習等 に対して8割以上正確に理解している。			構造分野の課題・演習等に対して6割以上正確に理解している。		構造分野の課題・演習等が理解できない。	
3 環境分野の理解が深まる	環境分野の課題・演習等に対して8割以上正確に理解している。			環境分野の課題・演習等に対して6割以上正確に理解している。		環境分野の課題・演習等が理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築学に対する留学生の理解を深める効果をもつ。建築の3つの分野である、構造・環 境・計画(設計製図を含む)の授業内容に関 する補助教材を用意し、説明とその演習により学修の深度を深める。						
授業の進め方・方法	同級生と一緒に受講している講義と平行して、専門科目授業担当教員と連携してこの科目の講義/演習は進めていく。 (事前準備の学習) 日本語の読み書きを復習しておくこと。 英語導入計画: Technical terms						
注意点	担当教員の指示を受け、計画的に進めること。授業の内容を確実に身につけるために、予習・復習が必須である。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業と学習の進め方の説明/応用物理 I に関する演習-1(小川)		授業と学習の進め方に関する理解を深める/応用物理 I に関する理解を深める		
		2週	インテリアデザイン論に関する演習-1(櫻木)		インテリアデザイン論に関する理解を深める		
		3週	設計製図に関する演習(櫻木)		設計製図に関する理解を深める		
		4週	環境工学に関する演習-1(青木)		環境工学に関する理解を深める		
		5週	建築計画に関する演習-1(今田)		建築計画に関する理解を深める		
		6週	インテリアデザイン論に関する演習-2(櫻木)		インテリアデザイン論に関する理解を深める		
		7週	建築計画に関する演習-2(今田)		建築計画に関する理解を深める		
		8週	環境工学に関する演習-2(青木)		環境工学に関する理解を深める		
	2ndQ	9週	構造力学・材料力学に関する演習-1(犬飼)		構造力学・材料力学に関する理解を深める		
		10週	構造力学・材料力学に関する演習-2(犬飼)		構造力学・材料力学に関する理解を深める		
		11週	設計製図に関する演習-3(櫻木)		設計製図に関する理解を深める		
		12週	インテリアデザイン論に関する演習-3(櫻木)		インテリアデザイン論に関する理解を深める		
		13週	環境工学に関する演習-3(青木)		環境工学に関する理解を深める		
		14週	建築計画に関する演習-3(今田)		建築計画に関する理解を深める		
		15週	総まとめに関する講義と成績評価方法の説明(小川)				
		16週					
後期	3rdQ	1週	建築史に関する演習-1(清水)		建築史に関する理解を深める		
		2週	設計製図に関する演習-1(今田)		設計製図に関する理解を深める		
		3週	応用物理 I に関する演習-2(小川)		応用物理 I に関する理解を深める		
		4週	構造力学に関する演習-1(犬飼)		構造力学に関する理解を深める		
		5週	設計製図に関する演習-2(今田)		設計製図に関する理解を深める		
		6週	木質構造に関する演習-1(柴田)		木質構造に関する理解を深める		
		7週	建築計画に関する演習-1(今田)		建築計画に関する理解を深める		
		8週	建築史に関する演習-2(清水)		建築史に関する理解を深める		
	4thQ	9週	設計製図に関する演習-3(櫻木)		設計製図に関する理解を深める		
		10週	応用物理 I に関する演習-3(小川)		応用物理 I に関する理解を深める		
		11週	構造力学に関する演習-2(犬飼)		構造力学に関する理解を深める		
		12週	設計製図に関する演習-4(櫻木)		設計製図に関する理解を深める		
		13週	木質構造に関する演習-2(柴田)		木質構造に関する理解を深める		
		14週	建築計画に関する演習-2(今田)		建築計画に関する理解を深める		
		15週	総まとめに関する講義と成績評価方法の説明(小川)				

		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポートなど	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100	
基礎的能力	0	0	0	0	50	0	50	
専門的能力	0	0	0	0	50	0	50	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	